

建設経済部 目標

【概要】

建設経済部は、都市政策課・建設課・商工観光課・農林水産課の4課で構成し、適正な土地利用の誘導、道路・橋梁及び水路の管理・補修及び整備、市営住宅、農林水産業、商工業及び観光、労政に関する施策に取り組んでいます。

| 建設経済部の目標（令和3年度） | 建設経済部長 茂木 雅宏 |
|---|--|
| 【基本方向】 <p>市民生活や経済活動にとって重要な都市基盤の整備と維持管理を、効果的、効率的に行うことで、市民が今後も住み続けたいと感じられるような魅力あるまちづくりを推進します。</p> <p>自然環境を配慮した農林水産業と活気に満ちた商工業の発展を目指します。</p> <p>観光資源等を発掘し、市の魅力づくりに努めて参ります。</p> | |
| 【達成すべき目標】 <ol style="list-style-type: none">新型コロナウイルス感染症対策の実施<p>感染症拡大に伴い、収入減少等の影響を受ける市内中小企業者及び農林水産業者を支援するため、市独自施策を構築するとともに、国及び県の施策を適切に周知、案内することにより、事業者のニーズに応じた情報提供等を行います。</p>国・県・関連市町村との連携<p>関係各機関への要望や調整会議等の開催、また各事業の課題に対する打ち合わせを密にし、各事業の着手予定が大幅に後退しないよう情報の共有を図ります。</p>部内、課内会議による情報の共有及び各課横断的な連携体制の確立<p>部内において、会議等を開催し情報共有を図ると共に、災害時やイベント時の部内応援体制など連携を図り取り組みます。</p>事業の計画的な実施<p>各事業の履行状況を定期的に確認し、計画的かつ効率的な事業の実施が図られるよう取り組みます。</p> | 【目標の達成度】 <ol style="list-style-type: none">新型コロナウイルス感染症対策の実施<p>感染症による影響が長期化するなか、市の独自事業を実施し、事業者の事業継続を下支えするとともに、関係団体等と連携し、国、県の支援制度周知や申請支援を行い事業者のサポートに努めました。</p>国・県・関連市町村との連携<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、要望活動や各種会議が縮小または、中止となったが、感染対策に注意を払い、必要に応じて関係機関等と情報共有を図りました。</p>部内、課内会議による情報の共有及び各課横断的な連携体制の確立<p>3カ月に1度の部内会議や随時部課長会議を行い、部内の情報共有を図り、必要に応じて部内横断的に対応しました。</p>事業の計画的な実施<p>3カ月ごとの部内会議において、各事業の進捗状況を確認するとともに、主要な事業について適宜確認を行っていたが、入札の不調や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一部事業は、計画ど</p> |

おり進捗できませんでした。

都市政策課 目標

【概要】

都市政策課は、建設政策係・建設調査住宅係・建築係の3係 13 名で構成し、適正な土地利用の誘導、地籍調査、建築行政、市営住宅の管理に取り組んでいます。

| 都市政策課の目標（令和3年度） | 都市政策課長 義崎 哲也 |
|---|--|
| 【基本方向】 都市公園、市営住宅等を適切に維持管理するとともに、公共建築物の営繕業務を適切に実施します。また、地籍調査事業をすすめ、都市計画、開発行為、建築等に関する情報を的確に提供し、まちづくりを推進します。 | |
| 【達成すべき目標】 1 市民ふれあい公園施設長寿命化 施設の老朽化に伴い、計画的な施設の改修を行い利用者の安全や快適な利用のため、施設長寿命化計画に基づき改修事業の推進を図ります。 2 地籍調査事業 地籍を明確にし、土地の有効利用を促進するため、適切な工程管理を行い、事業の進捗を図ります。 3 住宅耐震補助事業 地震に強いまちづくりを実現するため、耐震診断及び耐震改修等の必要性について、ホームページ等により情報提供等を積極的に行い、事業の執行に努めます。 | 【目標の達成度】 1 市民ふれあい公園施設長寿命化 「富津市公園施設長寿命化計画」に基づき、公園内の遊具更新、水道管布設工事、NIPPON STEEL 野球場のフェールポール交換工事等を実施しました。 来年度も国の交付金を活用し改修を進めるため、国及び県と交付申請に係る事前協議を実施し、交付金の要望事務を行いました。 2 地籍調査事業 西大和田の一部の区域0.50 km ² において調査が完了しました。また、同地域の一部の0.32 km ² の区域において境界確認、測量工程を実施し、さらに0.27 km ² の区域においては、地積測定、地籍簿作成、閲覧工程を実施し、事業の進捗を図りました。 3 住宅耐震補助事業 無料相談会を3回開催し、4件の個別相談があり、そのうち1件の耐震実地診断を実施しました。 |

建設課 目標

【概要】

建設課は、管理補修係・用地係・建設係の3係 17名で構成し、道路・河川・法定外の公共用財産・その他公共土木施設の整備・維持管理及び市道の認定、廃止、変更事務の業務に取り組んでいます。

| 建設課の目標（令和3年度） | 建設課長 棟方 雅典 |
|---|--|
| 【基本方向】 利用者が安全・安心で快適に利用できるよう、道路・橋梁等の適正な管理を行うと共に、より良い環境で利用できる道路・橋梁等の施設整備を効率的に行います。 | |
| 【達成すべき目標】 1 道路整備事業の計画的な実施 (下飯野線・浅間山線・湊富士見台線) 工事については、円滑な実施ができるよう地元区及び関係機関との調整を図り進めます。 用地については、浅間山線及び湊富士見台線は地権者と交渉を進めます。 2 各区長からの要望書等への対応 要望に対して、現地調査、関係部局との協議や打合せを実施し、早期に対応ができるよう連携を図ります。 3 橋梁長寿命化修繕事業の実施 (海岸橋) 市道海岸線が長期間通行止めとなることから地元及び関係機関と調整を図り、工事が円滑に実施できるよう進めます。 4 地域排水整備事業の実施 (二間塚地域排水整備事業) 工事については、地元区及び関係機関との調整を図り、円滑に工事ができるよう努め | 【目標の達成度】 1 道路整備事業の計画的な実施 地元区及び関係機関との調整を図りながら進めたが、下飯野線は支障物件の移設に不測の日数を要したため繰越となりました。 用地については地権者と交渉を進めた結果、概ね買収することができました。引き続き残る地権者と交渉を進めてまいります。 2 各区長からの要望書等への対応 関係部局等との連携を図ることにより、概ね、早期の対応をすることができました。 3 橋梁長寿命化事業の推進 (海岸橋) 地元区及び関係機関との調整を図りながら早期の工事発注を行い進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により資材調達に不測の日数を要したため繰越となりました。 4 地域排水整備事業の実施 (二間塚地域排水整備事業) 地元区及び関係機関との調整を図りながら早期の工事発注を行い進めていまし |

実施します。

また、次年度実施箇所についても、早期に発注できるよう準備を進めます。

たが、新型コロナウイルス感染症の影響により資材調達に不測の日数を要したため繰越となりました。

商工観光課 目標

【概要】

商工観光課は、商工係・観光係の2係8名で構成し、商工業の振興や観光振興に係る主要な施策に取り組んでいます。

| 商工観光課の目標（令和3年度） | 商工観光課長 嶋田 清一 |
|---|---|
| 【基本方向】 商工に関する振興施策や観光に関する振興施策を検討し、市の経済振興及び活性化に必要な事業を推進します。 | |
| 【達成すべき目標】 1 中小企業者に対する新型コロナウイルス感染症対策の実施 感染症拡大に伴い、収入減少等の影響を受ける市内中小企業者を支援するため、市独自施策を構築するとともに、国及び県の施策を適切に周知、案内することにより、事業者のニーズに応じた情報提供等を行います。 2 事業承継等に係る事業者支援の推進 経営者の抱える後継者問題や将来の事業継続の課題、創業に関する課題など必要な情報・状況を把握し、商工会と連携して中小企業者をサポートします。 3 市制施行50周年記念事業の実施 富津市民花火大会の共催、富津市民限定の第二海堡上陸ツアーなど、市民が富津市の魅力を再確認できるイベントを実施します。 4 観光資源の魅力発信 市や観光協会のウェブサイトやSNSのみならず、旅行会社、マスメディア、高速道路・鉄道等の事業者と連携し、多様な情報媒体により効果的に市の魅力を | 【目標の達成度】 1 中小企業者に対する新型コロナウイルス感染症対策の実施 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化するなか、市の独自施策として3事業を実施し、事業者の事業継続を下支えするとともに、商工会と連携して国や県の支援制度の申請支援を行い、感染症の影響を受ける事業者へのサポートに努めました。 2 事業承継等に係る事業者支援の推進 商工会と連携して事業承継セミナーとして「後継者育成塾」を開催し、コロナ禍での事業承継が計画的に行えるよう支援を行いました。 3 市制施行50周年記念事業の実施 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部の記念事業は実施できませんでした。市民限定第二海堡上陸見学ツアーやInstagramを活用したフォトコンテストなど、富津市の魅力を再確認するとともに50周年の機運を高めるイベントを行いました。 4 観光資源の魅力発信 各種メディアを活用した魅力発信のほか、近隣自治体等との連携によるインバウンドファミツアーを開催するなど、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた観 |

発信します。

光資源のPRを行いました。

農林水産課 目標

【概要】

農林水産課は、鳥獣対策室・農政係・水産係の1室2係14名で構成し、農業・水産業の振興、農業経営、農業の産業化、農山漁村の振興、農業・水産業施設整備及び維持管理に取り組んでいます。

| 農林水産課の目標（令和3年度） | 農林水産課長 三ツ俣 光浩 |
|---|--|
| 【基本方向】 農業・水産業の発展と農山漁村の振興及び農業・水産業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための事業を推進します。 | |
| 【達成すべき目標】 1 農林水産業者に対する新型コロナウイルス感染症対策の実施 感染症拡大に伴い、収入減少等の影響を受ける市内農林水産業者を支援するため、市独自施策を構築するとともに、国及び県の施策を適切に周知、案内することにより市内農林水産業者のニーズに応じた情報提供等を行います。 2 農林水産業の多様な担い手の育成・確保 関係機関、団体と連携し、認定農業者等経営感覚に優れた農林漁業の担い手の育成・確保、法人化の促進及び新規就業者や他産業からの離職就業者への就業相談等の実施や農林漁業技術習得を促進し、担い手の増加を図ります。 3 漁港施設機能保全工事の実施 国の水産物供給基盤機能保全事業を活用し、平成29年度に策定した機能保全計画に基づき機能保全工事を実施します。 | 【目標の達成度】 1 農林水産業者に対する新型コロナウイルス感染症対策の実施 本年度は市独自の農林漁業者への事業継続支援給付金事業を2回実施し、延べ件数で農業者は9件、漁業者は149件の給付実績があり、事業の情報提供については、適切に行われました。 2 農林水産業の多様な担い手の育成・確保 本年度は新たに認定農業者4法人、認定新規就農者3名（内夫婦1組）の担い手の増加があった。 また担い手の育成として、農業施設・機械導入の支援事業を関係機関と連携し実施しました。 3 漁港施設機能保全工事の実施 工事の実施にあたり事前調査を行いました。工法の検討及び設計が必要となり、年度内の完成が見込めなくなりました。国補助事業であるため、県と調整を図ったところ、3/18に県の予算繰越が成立する予定であり、その後でないと発注できないとのことであったため、令和4年4月以降に発注することとなった。 |

鳥獣対策室 目標

【概要】

鳥獣対策室は、担務制4名で構成し、鳥獣による生活環境被害及び農作物被害防止、林業の振興及び維持管理に取り組んでいます。

| 鳥獣対策室の目標（令和3年度） | 鳥獣対策室長 松下 順一 |
|---|---|
| 【基本方向】 鳥獣による生活環境及び農作物への被害防止、林業の発展及び林業施設の維持管理を図るための事業を推進します。 | |
| 【達成すべき目標】 1 有害鳥獣対策 富津市有害鳥獣対策協議会による有害鳥獣捕獲事業、防止柵設置事業を支援するとともに、農作物被害対策を実施し、有害鳥獣の捕獲（イノシシ 4,000頭、サル 250頭、シカ 1,500頭、キョン50頭）及び侵入防止柵の設置（電気柵 5,000m、物理柵 40,000m）並びに捕獲わなの導入を行います。 生活環境への被害防止対策として、緊急時のパトロールを実施し市民の安全を図ります。 | 【目標の達成度】 1 有害鳥獣対策 捕獲頭数については、2月末時点で、イノシシについては1,416頭で、目標を大幅に下回り、サル165頭、シカ1,410頭、キョン46頭とイノシシ以外の捕獲頭数については概ね目標を達成しました。前年との比較では、イノシシは約5割の減、サルは約2割増、シカは前年並み、キョンは約8割増となっています。なお、イノシシについては千葉県全体で捕獲頭数が減少傾向でした。 侵入防止柵設置事業については、電気柵4,413m、物理柵34,452mを整備し、目標値は下回ったものの、例年より大幅に拡大し、設置しました。 捕獲機材については箱わな（大型獣用）43基、くくりわな22基にの導入を行いました。 また、生活環境においては人身事故が2件発生する事態となり、被害防止対策として、緊急時のパトロールを実施するとともに、富津市安全安心メールによる注意喚起を迅速に行いました。 小動物については、檻の貸し出しを継続し、2月末時点で975頭の捕獲がありました。 また、サル被害対策として、天羽地区へロケット花火の配布を行った。 このほか、千葉県からの専門家の派遣を受け、当市の被害対策について検証を |

2 森林整備方針・事業計画作成

国の趣旨である森林の持つ多面的機能の発揮や、温室効果ガスの削減を目的とする目指すべき森林に向けて整備をするにあたり、森林環境譲与税の有効な活用のため、富津市内の森林の状況を調査し、森林経営管理法に基づく私有林人工林の整備状況や市の特色を踏まえ、富津市森林整備計画に基づき作成します。

行い、その結果をもとに次年度以降対策の強化を図ってまいります。

2 森林整備方針・事業計画作成

市内森林を調査分析のうえ「森林整備方針及び事業計画」の作成を行いました。

当市の私有林人工林については、小規模に広く点在し集約化が難しく、地形的にも難易度が高くコストがかかることから、管理権を集積しても採算のある森林施業は困難との分析結果となりました。

今回策定した計画では重要インフラ施設周辺又は有害獣の被害が多い地域の森林を優先的に整備していく方針とし、次年度から意向調査を実施してまいります。